

飯伊地区 産業経済動向

No.561 2025/12
(8.1.25 発行)

 **飯田信用金庫**
IIDA SHINKIN BANK
しんきん南信州地域研究所

<https://www.iidashinkin.co.jp/>
〒395-0044 飯田市本町1-2
TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132



Contents

表紙 写真：激しく燃え盛る飯伊の伝統行事・どんと焼き（おんべ）（飯田市松尾・1月11日撮影）	・ P 1
製造業 景況DIは前月から改善。機械製造全般で景況感好転の声が増加 P 2
建設業 12月の公共工事は前年比やや減少。11月の住宅着工は前年比43%減少 P 4
商業・サービス業 景況DIは前月とほぼ変わらず。飲食業は好調も、宿泊業で景況感悪化の声が多い	・ P 5
しんきんリニア・三遠南信対策室です 三遠南信地域 路線バスの旅 Season 2 (1)	
飯田駅から豊橋駅へ (1) P 6
三遠南信3シンクタンク共同調査 三遠南信地域におけるDXの取組事例 (2) ～飯田下伊那の場合～	・ P 9
主要経済統計 P 12
飯伊地区全産業景況DIの推移・主要経済指標 P 14

◆ 本誌内容は飯田信用金庫ホームページ（<https://www.iidashinkin.co.jp/>）に全文掲載しています ◆

本誌は、当金庫が信頼できると考えるデータに基づき作成されておりますが、データ、記述の正確性、完全性を保証するものではありません。御利用に当たってはご自身の判断によってください。

しんきんは環境にやさしい取り組みを地元のみならず、全国で行っています。



100%植物性インキ
[アクリル系100]を使用しました。

再生紙を
使用しています

地区内製造業の景況判断指数

概況 景況DIは前月から改善。 機械製造全般で景況感好転の声が増加

当月の製造業の業況判断指数（DI）はプラス15.6で、前月から13.0ポイント上昇。翌月予測はプラス11.8で、前月から3.7ポイント上昇。当月は、一部に景況感悪化の声があるものの、機械製造で景況感好転の声が前月に比べて増加し、全体での指数を押し上げた。先行きは、全体的に横ばい見込みの声が多いが、食品製造、電機・精密・光学機器製造や半導体製造では好転見込みの声が複数聞かれ、こちらは3か月続けてプラス圏となった。特に半導体製造に関しては前向きなコメントも聞かれ、悪化トレンドからの変化の兆しが見受けられる。引き続き、今後の動向を注視したい。

主な業種の動き

●電気・精密・光学

- ☑受注、販売… 販売、受注とも前月比は業者により増減分かれる。先行きについては販売、受注とも横ばい～やや増加で、減少を見込む声はない。
- ☑景況感…… 当月は横ばい～やや好転で、悪化との声はない。先行きは業者により見方が分かれるが、好転見込みの声が多い。

〔企業からのコメント〕

- ・一部の取引先について、例年に比較して決算後の数量の戻りが弱い。日中対立の影響が多少出ているのか、と感じる。
- ・工作機械業界は海外（中国、アメリカ）が好調。国内は低い水準で横ばい。

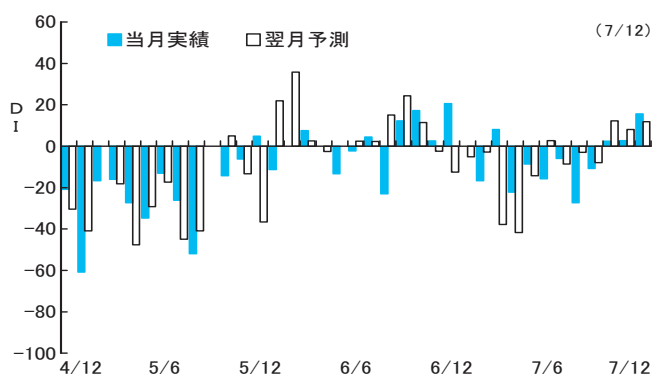
●半導体、液晶製造装置向け機械部品

- ☑受注、販売… 前月比は販売は業者により増減分かれ、受注は横ばい～増加。販売の先行きは横ばい～増加で、減少見込みの声はない。
- ☑景況感…… 当月の景況感は横ばい～やや好転。先行きも同様で、悪化を見込む声はない。

〔企業からのコメント〕

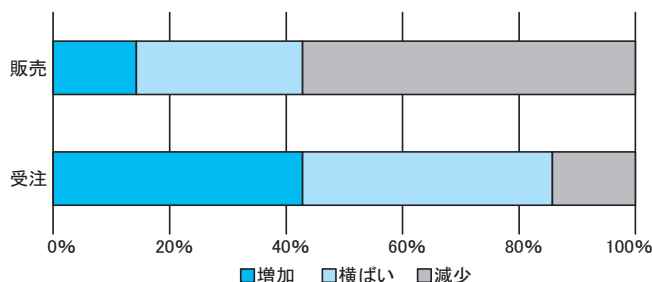
- ・「主にAIサーバー向けの短納期特需が発生している。世界的なメモリ不足により、設備投資への風向きが良い方向に向かってきている。短期的に繁忙な状況が続く見込み」「注文は戻りつつあるが、短納期の単発案件が中心で、先行きの不透明感は払拭できていない。この傾向はしばらく続きながら、緩やかに回復局面を迎えると思われる。スポット注文の回数が増加傾向にあるため、徐々に回復していると実感している」
- ・「DRAMを中心としたメモリ不足となっており、エンドユーザーの稼働率が上がってきている。そのため、新規設備投資やスペアパーツの発注量が一気に増加している。主にAIサーバー向けとなっているが、半導体前工程や後工程、組立工程等に大きく波及しており、全体で増加傾向となっている。一方、需要がどこまで続くのかという点では各取引先とも不透明感が大きい状況」「半導体に関しては、メディア等で新製品の発表、設備投資、工場の建設・増築などの情報も目にするようになり、『2026年の設備投資は期待できない』という状況からは改善傾向にあると思われる。地政学リスクが治まり、経済が回復することが半導体活況のカギになると思われる」「半導体はまだまだであるが、明るい話をちらほら聞くようになった」

飯伊地区景況DI（製造業）

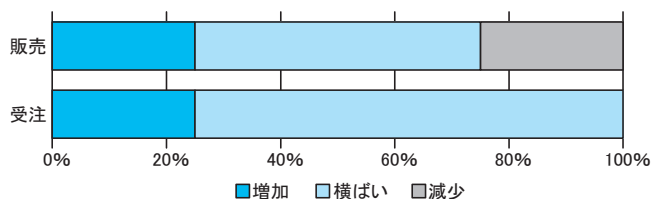


【DI（ディフュージョン・インデックス）】とは…
景気に関する投票を指数化したもので、全体の回答数を分母、良い、やや良いとの回答数を分子にした割合から、全体の回答数を分母、悪い、やや悪いとした回答数を分子にした割合を引いた数値。
「先月と比べて景気が良い」との回答が多ければプラス、「先月と比べて景気が悪い」との回答が多ければマイナスとなる。

電気・精密・光学向け部品前月比回答割合



半導体、液晶製造装置向け部品前月比回答割合

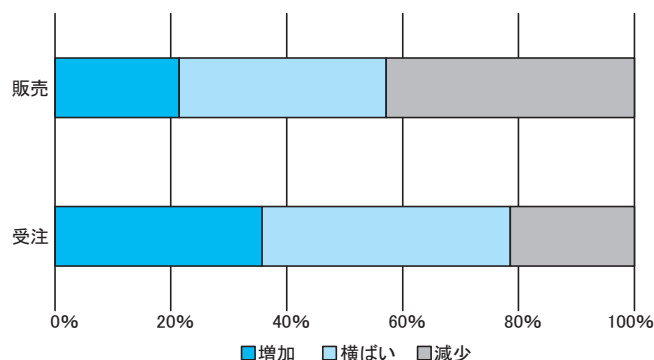


●産業機器、医療機器向け等機械部品

☑受注、販売… 販売、受注ともに前月比は業者により増減分かれるが、販売は減少の声がやや多い。販売の先行きについては業者により増減分かれ、増加見込みの声と減少見込みの声が拮抗している。

☑景況感…… 当月、先行きとも業者により見方が分かれるが、当月は好転の声がやや多く、先行きは悪化見込みの声がやや多い。

産業機器、医療機器向け部品前月比回答割合



[企業からのコメント]

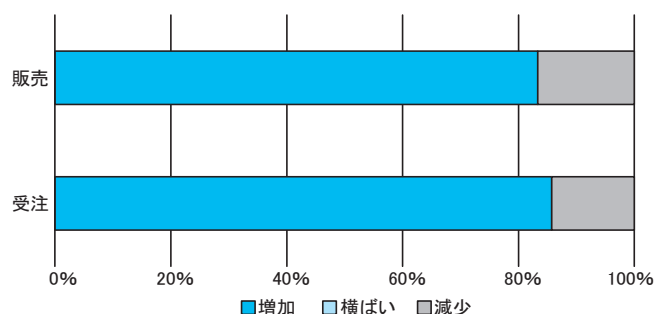
- ・「年末にかけての動きが思ったより少なかった。展示会での反応は夏までに比べて若干良くなっていると感じるが、まだ具体的な動きになっていないのではないか」「全体的には低調。ただ一部に仕事が増えてきた企業もあるようだ」「物流は最下限の状態。新商品および増産等の情報もない状態が続いている」「値上げ交渉の成果により、受注残高が増加した」
- ・製造業の中でも良い悪いの二極化が進んでいると感じる。何か手を打って行かないと、将来の見込みが見えない。

●食品製造（漬物、半生菓子、菓子原料、その他食品）

☑売 上…… 菓子の前月比はやや増加～増加、先行きは横ばい～やや増加。食品全体では増加の声が多く聞かれ、先行きは横ばい見込みの声が多く聞かれる。

☑景況感… 当月は業者により見方が分かれるが、横ばいとの声が多い。先行きは横ばい～やや好転で、好転見込みの声が多い。

食品製造 前月比回答割合



[企業からのコメント]

- ・「年末は、最終盤になってようやく荷物が動いたとの声があった」「前年の正月受注にくらべ受注量が減少、物価高騰で節約・選択消費の影響を感じる」「物価高に、消費者の意識が後ろ向きになっている様子」「凍り豆腐の業界では、二極化の進展が顕著になっている」
- ・「砂糖・小麦は下がったが、卵をはじめとして値上がりが続く」「原材料価格の高騰が続いている。卵の高値安定、あんこ原料、米関連原料も値上がり。特にあんこの値上がりは売価に転嫁できれば良いが、できていないメーカーは厳しい」

●水引製品、冠婚葬祭・祝儀用品、正月・盆用品

☑売 上 … 前月比は横ばい、先行きは減少を見込む。景況感は当月、先行きともに横ばい。

[企業からのコメント]

- ・「正月飾りの市場規模は販売チャンネルに関係なく縮小しているが、通年の金封需要は堅調だった」「少量多種の製品構成で、一品当たりの利益を重視しており、数量的には減少したが利益は確保できた」
- ・2026年正月三が日は太平洋側を中心に好天に恵まれ、初詣客は昨年同様大勢の参拝客で賑わいを見せ、縁起物の売れ行き好調との事。十日戎は今年は連休と重なり例年以上の人出で賑わい各店舗も活況が見られた。
- ・水引の仕事をする人、内職者が減る状態が続いているため、PRをして継続できるようにしたい。

●上記以外の製造業

☑建築用金属製品… 販売は前月比、前年比とも減少、先行きも減少を見込むという。景況感は当月、先行きともやや悪化という。

☑自動車向け部品… 販売は前月比、先行きともに横ばい。景況感は、当月はやや好転、先行きは横ばい見込みという。

[企業からのコメント]

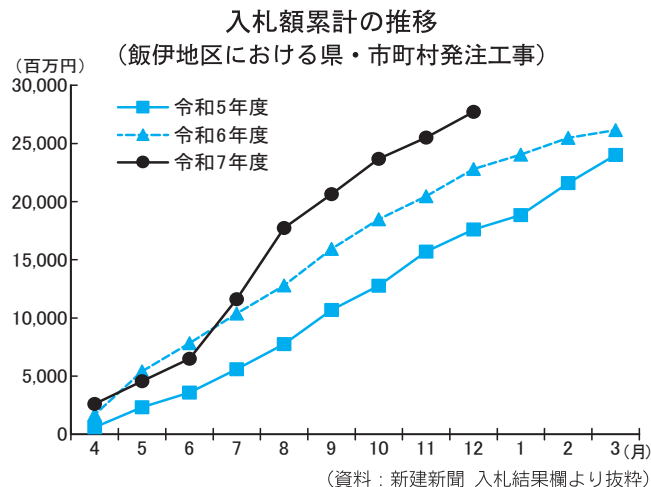
- ・関東の建築物件の着工件数がかなり減少していて、当社の仕事量も少ない状態が続いている。主な原因が、働き方改革によるゼネコンや一部の施工会社の人員不足、物価高による労務費や資機材の高騰によるものであり、なかなか改善される見通しがたかない。来年以降に物件の計画は多くあるため、それを期待しながら当分の間、関東以外の物件を細かく拾っていくしかない状況。

建設業

官公需

概況 12月の公共工事入札金額は前年比で4.8%減少、一昨年比では15.9%増加

- ✓公共工事入札額… 当地区における当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、22.2億円（1月15日調査時点）。前年に比べ4.8%減少、2年前との比較では15.9%増加。
- ✓景況感… 当月は横ばい～やや好転で、横ばいとの声が多いが悪化との声はなかった。先行きも横ばい見込みの声が多いが、次いでやや好転を見込むとの声が多かった。
- ✓原材料価格… 当月は一部に下降したとの声もあるが、全体では横ばいとの声が多い。一方、先行きは横ばい見込みと上昇見込みの声が半々。



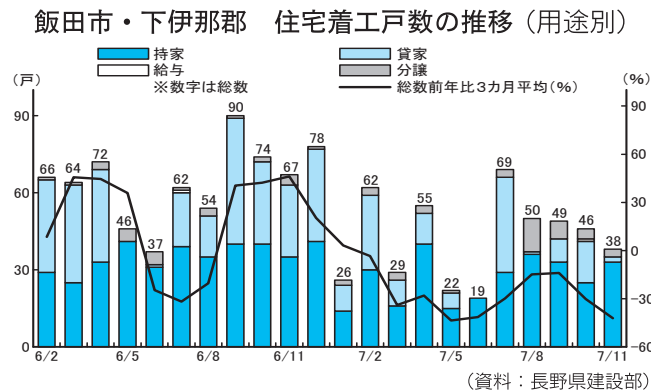
〔企業からのコメント〕

- ・「公共工事の発注が進んでおり、受注確保に取り組んでいる」「発電所工事や砂防堰堤工事などを受注」「年末年始休暇により稼働日数が減少したため、売上高、工事単価は前月比で減少」「補正予算による発注の増加を見込む」「県内は4月以降になるまでは閑散。隣県も予定物件の遅延により閑散。これまで同様に施工単価の上昇が始まると全体工事量が減少し、単価が以前の安値に戻る傾向にある」
- ・「慢性的な人手不足が続く」「ハローワークに求人を出して半年、まったく問い合わせ等がない」
- ・専門工事業の担い手不足は、育成期間を踏まえると既に臨界点に達している。技術を買叩く行為は、インフラの遅延を招き、ゆくゆくは国力低下につながる。人口減少が早い地方・過疎地ほど手が回らなくなっていく。建設業の倒産件数は年々増加しており、予算はついても災害復興に向かうために必要な生産能力がない。様々な自然災害のリスクを負う中、建設産業の在り方自体が見直されることを切に願う。

民需

概況 令和7年11月の住宅着工戸数は38戸で前年比43%減少。
貸家大幅に減少し、4か月連続で前年比マイナス

- ✓住宅着工戸数… 当地区の11月の住宅着工戸数は38戸。前月比17%減、前年比では43%減。持家の戸数は33件で前年（35件）からやや減少。貸家は2件で前年（28件）から大幅に減少。分譲は3件で、前年（4件）から減少。
- ✓景況感… 当月、先行きともに業者により見方が分かれるが、全体では横ばいとの声が多い。
- ✓原材料価格… 当月は横ばい～やや上昇。先行きについても同様で、下降との声はない。



〔企業からのコメント〕

- ・新築着工は少ないが、リフォーム工事は多い。
- ・職人不足で、工事の遅れが続いている。

建設資材等

概況 11月の生コンの売上は前月比、前年比ともに業者により増減分かれる。
骨材は前月比、前年比ともに減少

- ✓生コン… 売上は前月比、前年比ともに業者により増減分かれる。
- ✓骨材… 売上は前月比、前年比ともに減少。

〔企業からのコメント〕

- ・12月の主な出荷はリニア関連工事、三遠南信工事、発電関連工事、護岸・床固工事、バイパス工事等に関わるものだった。リニア関連工事の出荷量は当月出荷量の約4割。
- ・「12月に入り発電所の関係、砂防堰堤と、出荷量の多い工事が動き出してきた。年度末まで安定した出荷量が見込まれる予定」「緩やかにリニア生コンの需要があり、安定した月というイメージ」

商業・サービス業

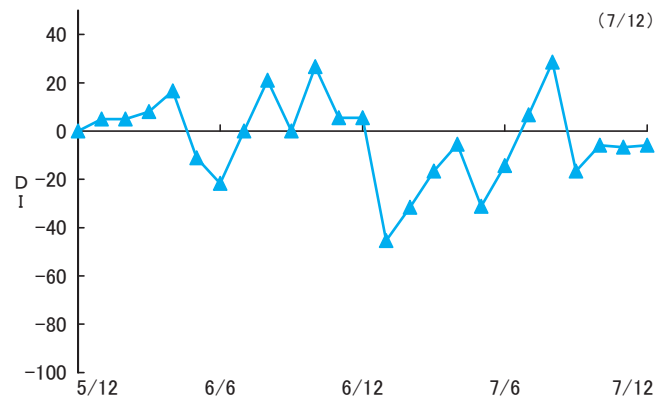
概況 景況DIは前月とほぼ変わらず。飲食業は好調も、宿泊業で景況感悪化の声が多い

当月の商業・サービス業の業況判断指数（DI）はマイナス5.9で、前月から0.8ポイント上昇。

当月は飲食業で売上が増加し、景況感好転の声が複数聞かれた。一方で、宿泊業では売上が減少し、景況感が悪化したとの声が多く聞かれ、全体では指数は前月とほぼ変わらず。宿泊業では昼神温泉を中心に、忘年会も含めた利用客が少なかったとの声が聞かれた。また小売業では、前年比での売上が減少したとの声が複数聞かれ、物価高による消費動向への影響を指摘する声は依然として多い。

次月以降では、どの業種でも景況感好転を見込む声はなく、飲食業、宿泊業を中心に景況感悪化を見込む声が多い。

商業・サービスDI



主な業種の動き

●小売業 概況 売上の前月比はやや増加～増加。景況感は業者により見方が分かれる

✓売上 … 前月比はやや増加～増加。前年比は減少～やや減少。

✓景況感 … 当月は業者により見方が分かれる。先行きは横ばい。

〔企業からのコメント〕

- ・「年末の売上は昨年を少し下回った。クリスマスの家庭での催しも年々縮小傾向にあると感じる。2026年もメーカー値上げは続く状況であり、物価高傾向が続くと思われる」「前年比で客足、売上とも減少しており、消費を控えている印象」
- ・ドラッグストアの進出が目立ってきている。今後、同業者間の競争が激化していくのではないかと。

●卸売業 概況 売上の前月比はやや増加～増加。景況感は、当月は業者により見方が分かれ、先行きはやや悪化～横ばい

✓売上 … 前月比で食品、青果は増加。食肉、電設資材、建設資材はやや増加。

〔企業からのコメント〕

- ・野菜は、昨年はどの高値は全体的に収まり、人参、馬鈴薯、玉ねぎなどの土物は昨年より高値だったものの、その他の野菜は昨年比で半値のものもあり、特にキャベツは安かった。野菜全体では入荷は昨年並みも、売上は減少。果実は、主力の市田柿は干しあがりが遅れていたが、入荷は昨年並みで価格は安い。りんごは豊作で入荷増、価格安。苺は天候不良で年末の入荷が少なく売上減少。果実全体では昨年並みの売上となった。
- ・季節商品（暖房器具）は不調。前月に続き「LED照明」「省エネ対応商品」が好調。2026年早々に「銅ベース」が高騰しており、今年の値上げラッシュに追い打ちをかけるようだ。建設・インフラ投資に支えられているが、民需は低迷しているように感じる。

●飲食・宿泊・運輸業 概況 売上の前月比は、飲食業は横ばい～増加、宿泊業は減少～やや減少。

景況感は、飲食業は横ばい～好転、宿泊業は悪化～横ばい

✓売上 … 飲食業は前月比横ばい～増加、宿泊業は前月比減少～やや減少。運輸業は前月比増加、前年比では横ばい。

〔企業からのコメント〕

- ・「会社単位での忘年会が減少したが、クリスマス、年末年始の予約など、お客様の動きがかなり良かった」「11～12月は良かった。お年取りの注文も昨年より多かった」「12月末時点で、1月の予約数は例年と変わらない。物価高の影響を除けば、見通しは暗くないと感じる」「正月明けは売上が落ち込むが、寒気が入るとさらに低迷する」「材料費が高く、売れても利益が少ない。全体的に材料の値段が上がり過ぎと感じる」
- ・「11月までの秋の行楽シーズンは順調に売上があったが、12月に入り予約が鈍ってきた。1～3月のツアーの集客も悪く、個人客の動きもあり良くない。正月は年末休み～元旦までは満室となったが、1月2～3日は空室が目立つ」「企業グループなどの忘年会もほとんどなく、売上は前年比で減少」「スキー客もあまり期待できず、3月までの期間は毎年宿泊者が減少する。この期間の対策が必要だがいいアイデアがなく、星空ナイトツアーも以前よりは減少している」
- ・コロナ前との売上対比は8割5分、タクシー運行回数は7割。12月の繁忙期ではあったが、夜間の機動力の確保ができなかったために大きな売上増加にはならなかった。代行についても全体の機動力の増加がなく2割減少。各方面からのドライバー確保の補助金等もあるが、まだまだ応募者が少なく、自然減（乗務員の高齢化）とコロナ減少分を補えない状況。

三遠南信地域交流たずねある記（13）

三遠南信地域 路線バス乗り継ぎの旅 Season 2（1） 飯田駅から豊橋駅へ（1）

～ 中馬街道の面影に触れる ～

令和2年11月発行号（No.500）から6年2月発行号（No.539）にかけて連載した三遠南信地域路線バス乗り継ぎの旅。また路線バス旅に出たくなり、三遠南信地域を巡ることとした。果たして三遠南信地域を、再び路線バスで繋げることができるか。

■再びバス旅に出発

前回のバス旅記では、おかげ様で「毎回楽しみにしている」と読者の方から声を掛けていただき励みとなった。このときは、令和2年7月の豪雨による土砂崩落で水窪から浜松方面の交通（国道152号）が途絶しバス旅の継続を水窪町で断念。また新型コロナの数次に亘る蔓延により域外への移動を自粛せざるを得ず、結局旅の完了まで3年を要した。あれから早2年近く。バス路線の巡る地域はどうなっているか、バス路線は維持されているのか、気になるところ。

前回は、飯田駅→浜松駅→豊橋駅→飯田駅の順路だったが、今回は反時計回りに飯田駅→豊橋駅→浜松駅→飯田駅の順に回りたい。できるだけ前回と違うルートを探して巡り、三遠南信地域各所の素顔に触れてみたい。

■高校生の通学バスに同乗、通勤者も多い

飯田駅前の朝7時15分。阿智村方面行きバスが飯田駅前を出発する。乗ったバスは広域バス（基幹）W0 駒場線「阿智高校経由曽山入口行き」。今回は下伊那郡西部をどうしても通りたかった。駒場線は、飯田市から阿智村を結ぶ。路線は始発・終点が飯田駅前のほか飯田高校前があり、阿智側同は曽山入口や昼神温泉となっている（切石経由W0-1）。また市立病院経由（W0-2）があり、運行パターンは8頁の通りとなっている。

バスには高校生3人と大人3人。高校生ばかりの中にポツンと大人一人、を想定したが、通勤と思われる利用がそれなりにあることが分かった。飯田病院、箕瀬入口、切石、大井橋と各停留所で高校生が1・2名ずつ乗車するが、大人も各1名程度乗り込んでくる。乗車して前の停留所からの人に話し掛けるなど、バス通勤が板についた人たちだ。大井橋では中学生と思いき子が乗車した。北方の鼎境から旭ヶ丘中まではかなりの距離があり、それもありかなと思う。今日日はかなりの親が子どもを自家用車で送っていると思うが。

7時30分農協前。小学生の登校する姿を車窓から目にするようになる。また飯田インター西交差点辺りからは朝ラッシュを呈し、反対車線は車が繋がってきた。大瀬木、伊賀良局前と乗車があり。中村では先ほどの中学生が降車。

ニツ山から先の山本地区内停留所は乗車がない。バスは鈴木屋前を過ぎて153号の旧道（地図は三州街道と表示）へと山本地区の中心部を通る。山本自治振興センター前などを通過し七久里の先で左折し、153号バイパスの三遠南信道飯田山本ICを過ぎたところに出る。

■阿智高校へ到着、根羽行きバスに乗り換え

湯川、前原と来て中関を過ぎると左折して細い道路を飯田方面へ引き返す方向に向かう。後で地図を見るとこれも三州街道だった。家が疎らなところを少し進むと工場（盟和産業）があり阿智高校が見えてくる。阿智高校前に定刻に少し遅れて到着。高校生と大人が降車し工場へ学校へとそれぞれ向かう。バスの中は大人がもう一人だけとなった。

阿智高校前からは次の根羽行き西部コミュニティバス根羽線が出るのだが、駒場線は阿智高校経由ではないバスもあるので、駒場線と根羽線との接続はこまんば乗り継ぎで行うこととする。



根羽村中心部（坂町）



広域バス（基幹）駒場線
飯田駅前～こまんば 400円



国道153号阿智村中野付近

ここで、公共交通としての駒場線であるが、運行事業者である**信南交通**と関係自治体（飯田市、阿智村）に沿道の自治組織（鼎地区（切石区）、伊賀良地区、山本地区）の代表者と高校PTA代表、福祉関係者などにより「飯田市地域公共交通改善市民会議駒場線部会」（事務局：飯田市リニア推進部）が年1回開催されている。

事業者からの報告による最近の利用状況は、コロナ禍による減少から回復基調にあり、ここ5年間では令和2年度の166千人から6年度193千人にまで増加している。ただ今後、高校生の減少による利用者減が見込まれることや当地においても運転手の確保は深刻な問題という。その中で路線バスの利便性確保などについて協議を積み重ねている。

■ 稲武行きバス発車まで4時間待ち

根羽行きのバスは、広域バス（准基幹）W1西部コミュニティバス（阿智ー平谷ー根羽線）。こまんばで駒場線を降車して1、2分で来た。国道153号を阿智村駒場から同智里、同中野、同大野を通り、寒原を通過して同浪合に入る。浪合では国道153号から外れ、旧浪合村中心部に行く。久しぶりに同中心部を見ることとなった。その後バスは国道153号に戻り、もみじ平入口など治部坂峠へ向かう。こまんばを出てこの間、各停留所の乗降がないのでバスはすっ飛んでいく感じ、自家用車で行くのと同様のハイペースとなる。

治部坂峠を通過して平谷村へ入り道の駅信州平谷（ひまわりの湯）では最初から乗っていた乗客が降車し、いよいよ一人となる。「根羽（終点）までですか」と聞かれた。「料金は200円です」。

ネーランドからは根羽村になる。信玄塚（根羽村横畑）を横に見て進むと、やがて家並が増えてきて根羽村中心部へと入っていく。ほぼ定刻に根羽に到着した。バス停は旧根羽村役場の向かい国道153号と県道10号設楽根羽線との三叉路交差点に面したところにある。「稲武行きのバスは旧役場前駐車場に來ます」と教えてくれた。

今8時40分で稲武行きバスは12時49分発、4時間もある。この間を利用し根羽村役場を訪問、公共交通担当者に話を聞いた。西部コミュニティバス阿智ー平谷ー根羽線は阿智、平谷、根羽の3か村による「西部コミュニティバスを守り、育てる会」という協議会により運営。「地域フィーダー系統確保維持国庫補助金」に基づく事業として実施している。令和2年発表の資料によると、ここでもコロナ禍による利用者の大幅減少に直面し、現在はそこからの回復途上にある状況、他の公共交通と同様、先行き楽観できないことに変わりはないと思われる。

■ 中馬街道に出会う

根羽村役場からバス停まで徒歩で戻る。国道に戻らず国道と並行している道を行くと何やら昔の街道の風情が感じられる。県道10号との合流点まで来ると「中馬街道」の看板とともに石の道標があった。昔の三州街道（三河・尾張の側では「伊那街道」、またの名を中馬街道）だったのだ。

道標は摩耗が進み苔などによる変色もあって読み辛いが、今来た方向の面は「此方〇こう〇」と読めた。ああ「善光寺」かと思う。その隣の面は「此方なこや〇〇」。国道153方面なので「名古屋」に違いない。その隣の面は「此方〇うらい〇〇」。この方面は県道10号で設楽町田口を経由して新城に至る正に三州街道なので「鳳来寺」であろう。後日「根羽村誌」によると、これは「『ゴハンギョ』の道標」と言い、村指定有形文化財で明和8（1771）年建立とされる（同）。読みは右図の通りであった。

この地でも往時の中馬街道の頃の賑わいを偲び関連の事物が大切に取り扱われている。下伊那西部地区の路線バスは、中馬街道の頃からの地域の連携を守り伝える取り組みとも言えると感じた。



西部コミュニティバス根羽線
こまんば～根羽 200円



根羽村役場

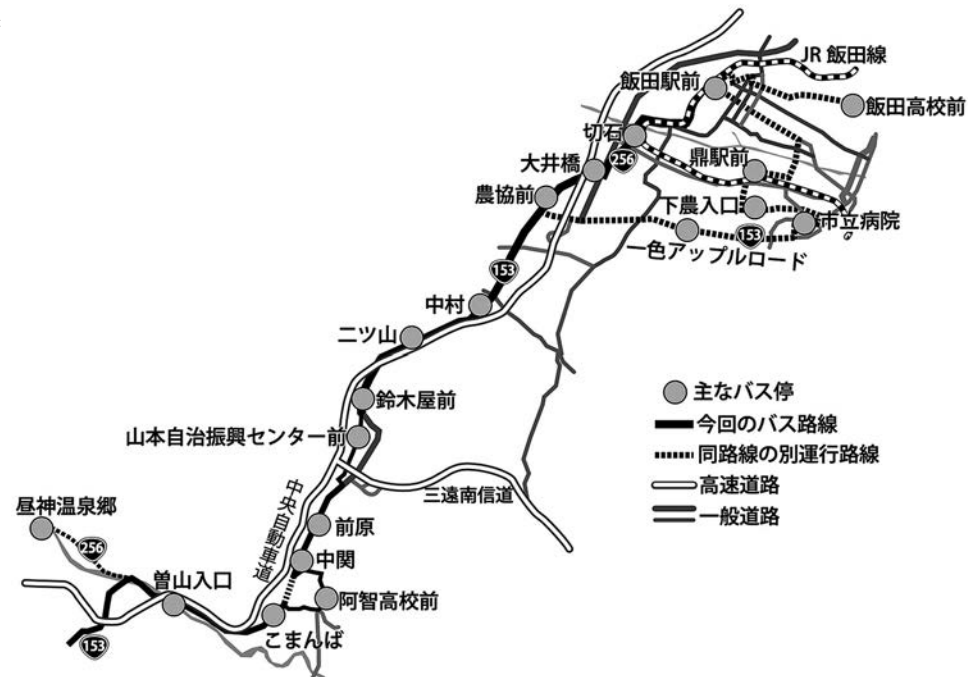


根羽に残る中馬（三州）街道の
面影と道標

此方 せんこう 寺みち	此方 なこや みち	此方 うらい 寺みち
-------------------	-----------------	------------------

三州街道道標の刻字
（「根羽村誌」上巻467頁参照）

■ 広域バス（基幹）駒場線



運行形態別便数

始 発	飯田駅前	飯田駅前	飯田駅前	飯田駅前	飯田駅前	飯田駅前	飯田駅前	曾山入口	曾山入口	曾山入口	曾山入口	曾山入口	曾山入口	曾山入口	曾山入口
行き先	曾山入口	曾山入口	飯田駅前	飯田駅前	飯田駅前	飯田駅前	飯田駅前	飯田駅前	飯田駅前	飯田駅前	飯田駅前	飯田駅前	飯田駅前	飯田駅前	飯田駅前
便数(平日)	3	3	1	2	2	4	5	4	1	2	3	2	3	3	4

運行形態別便数

始 発	飯田駅前	飯田駅前	飯田駅前	飯田駅前	飯田駅前	飯田駅前	飯田駅前	曾山入口	曾山入口	曾山入口	曾山入口	曾山入口	曾山入口	曾山入口	曾山入口
行き先	曾山入口	曾山入口	飯田駅前	飯田駅前	飯田駅前	飯田駅前	飯田駅前	飯田駅前	飯田駅前	飯田駅前	飯田駅前	飯田駅前	飯田駅前	飯田駅前	飯田駅前
便数(平日)	3	3	1	2	2	4	5	4	1	2	3	2	3	3	4

■ 広域バス（准基幹）西部コミュニティバス阿智ー平谷ー根羽線

時刻表(平日)

	第1便	第2便	第3便	第4便	第5便
根羽	6:10	6:50	11:00	16:30	18:20
道の駅信州平谷	6:24	7:06	11:14	16:44	18:39
浪合	6:36	7:20	11:26	16:58	↓
寒原	6:42	7:32	11:32	17:02	18:54
中野	6:47	7:33	11:37	17:07	18:59
曾山入口	6:51	7:38	11:42	17:12	19:04
こまんば	6:56	7:40	11:47	17:17	19:07
阿智高校前	6:58	7:45	11:50	17:20	19:10

	第1便	第2便	第3便	第4便	第5便
阿智高校前	6:58	7:55	12:30	17:35	19:20
こまんば	7:00	7:57	12:32	17:37	19:22
曾山入口	7:03	8:00	12:35	17:40	19:25
中野	7:07	8:08	12:42	17:47	19:32
寒原	7:10	8:10	12:48	17:51	19:36
浪合	↓	8:16	12:53	17:58	19:43
道の駅信州平谷	7:22	8:28	13:03	18:08	19:54
根羽	7:32	8:40	13:15	18:25	20:10



(飯田信用金庫 しんきん南信州地域研究所 リニア・三遠南信対策室 加藤 修平)

三遠南信地域におけるDXの取組事例（2）

～飯田下伊那の場合～

本誌10月号（11月発行号 No.559）で、遠州地域、特に浜松市を中心とした、行政のDX推進の取組や、それにこたえるDX企業の実践事例をご紹介した。

今回は、飯田下伊那地域における、行政、事業者のDXへの取り組み事例をご紹介する。

1. 飯田市のDXに関する取り組み

（1）飯田下伊那の地域医療では、従来から「ism-link（飯田下伊那診療情報連携システム）」を運用し、患者の同意のもと、複数の医療機関や介護関係事業者の間で、薬の処方、血液検査の結果、レントゲンやCTなどの画像情報を電子的に閲覧共有しており、令和7年末で、278の施設がこれに参加し、61,745名の登録患者数がある。

飯田下伊那地域の急性期医療を担う中核病院として、地域医療の要の役割を果たす飯田市立病院は、このism-linkに参加しているほか、近時は、顧客に関する様々な情報を一元的に管理分析し、各部門で共有、活用するためのソフトウェア（CRMプラットフォーム）を導入し、これらの情報を基に生成AI、自立型AIを、患者情報の収集支援や看護サマリーの作成などに活用している。また、「外部業者の来院予約システム」「地域医療機関向けの活動管理・問い合わせ管理アプリケーション」などを自院内で開発、運用しており、これらの施策は、地域医療が直面する数多くの課題の中で、特に深刻化する人手不足への対処を目的としたものである。

また、同病院では手術支援ロボットも導入し、安全で精度の高い医療の提供を目指している。

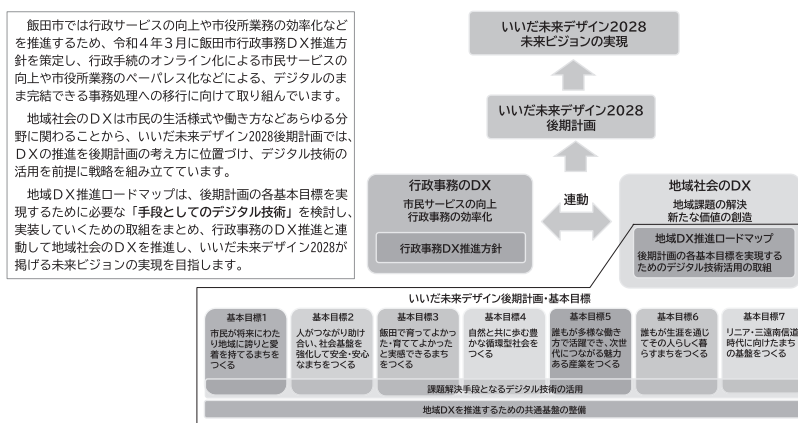
（2）飯田市では、市のデジタル推進課が中心となり、令和7年2月に「飯田市地域DX推進ロードマップ」を策定した。

これは、飯田市が「手段としてのデジタル技術」を検討し、実装していくための取り組みをまとめたもので、「行政事務のDX」と「地域社会のDX」を推進していくこととしている。

具体的には、行政事務のDXとして、・「ながの電子申請サービス」による電子納付の開始（令和7年5月～）、・行政窓口のオンライン相談（現在、試験運用中）などが挙げられる。

また、地域社会のDXとして、・市施設のキャッシュレス決済導入（飯田市美術博物館、飯田市歴史研究所など）・「いいだwebまっぷ」の運用開始（令和6年11月～）が挙げられる。

「いいだwebまっぷ」は、公共施設、都市計画図、水道台帳図などの公開から始まったが、令和7年9月には「クマ・サル出没マップ」（右図）、「建築基準法による道路指定図」、令和7年11月からは「AED設置場所マップ」が公開され、行政が持つ情報を分かり易く公開し、市民の利便性に資する取り組みが始まっている。また、「焼き肉のまち・飯田」らしく、地域の焼き肉屋を市民が投稿できる「飯田焼肉してまっぷ」も公開されている。



（資料：飯田市ホームページより）



2. 市田柿×DX ～南信州・飯田産業センターの取り組み～

(1) 市田柿の長所と課題

市田柿(いちだがき)は、長野県南信州地域(特に下伊那郡高森町)発祥の干し柿である。その栽培の歴史は500年とも言われており、1921(大正10)年に当時呼ばれていた「焼柿」から「市田柿」に名称変更する申請が長野県に提出され、2021(令和3)年に販売100周年を迎えた。市田柿を地域の財産として保護するため、2006(平成18)年に地域団体商標登録、2016(平成28)年には地理的表示(GI)登録をいずれも長野県第1号で登録し、その後は海外での知的財産登録も進め、現在は海外(主に東南アジア)への輸出も拡大している、地域を代表する農産物である。

製法は、皮をむいた渋柿を吊るして天日干しし、硫黄燻蒸(いおうくんじょう)することでカビや乾燥を防止するという昔ながらのものであるが、それゆえに人力によるところが大きく、また生産者の経験と勘による製法から脱却できず、自動化・省力化が進まないことが課題であった。

特に硫黄燻蒸は電子計測機器を狂わせデジタル化を阻害し、自動化にとってのハードルになっていた。また生産者の高齢化が進む中で、省力化を進めることが市田柿生産に求められている状況もあった。

(2) 南信州・飯田産業センターとネスクイイダ企業による機器開発

飯田市農業課からの依頼を受け、南信州・飯田産業センターでは「硫黄燻蒸に耐えるデジタル計測機器開発」を計画し、市田柿の乾燥工程のDX化に取り組んだ。事業化戦略として「個人農家が簡単に使える実用的なシステム」を目指すこととした。

① 硫黄に耐えられる計測機器

南信州・飯田産業センターによる指導の下、ネスクイイダ(南信州地域の工業系企業を中心とした共同受注・開発グループ。令和7年8月時点で会員企業133社)の企業が開発を重ね、強烈的な錆(さび)を引き起こす硫黄による誤作動をなくすための計測機器(水分計、温湿度計)を開発。

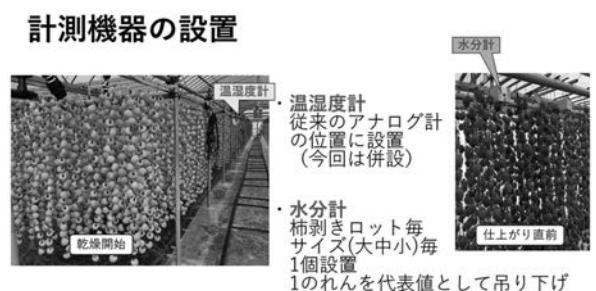
② 計測機器とデータ集計システムとの連動

市田柿の生産場所にWiFiを設置し、計測機器が取得した情報をインターネット上にアップし、生産者がスマホで確認できるシステムを、ネスクイイダの情報系企業が開発。

③ 高齢者でも使いやすいスマホの表示システム

市田柿生産者の協力を得て実証実験を実施。生産者からのフィードバックを受け、高齢者でも見やすい、使いやすいことを意識したシステム改良をその都度実施し、現在の表示システムを作り上げた。

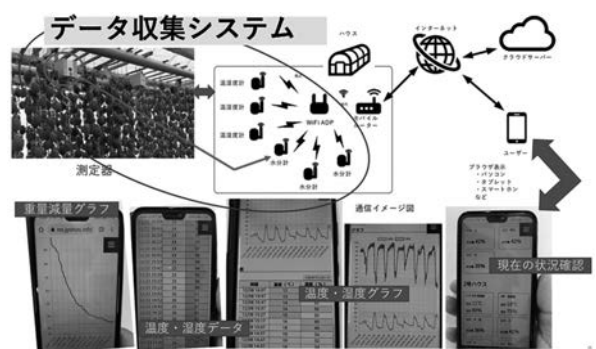
本システムの販売もネスクイイダ会員企業が担うこととし、現在本システムについては特許出願中である。



(3) 今後の展開と課題

本システムを利用して、干柿作業環境管理の自動化をおこなう。また、ブドウ栽培やきゅうりの栽培にも自動化・省力化を導入できるように調整を加え、導入試験をしているとのことで、今後の更なる発展が期待される分野である。

一方、この市田柿温度管理システムは1セット2万円程度ではあるが、それでも農家からは「そこまでお金をかけてまで…」という反応もあるらしく、また経験が長い農家からは敬遠されがちであるという。農家への販売は地元農協と協力して行っているが、個人農家が多い市田柿生産者に幅広く普及させていくことが今後の課題といえる。



(資料提供: 南信州・飯田産業センター)

3. ロジカランド株式会社 スモール・ユニークデータを使って、中小企業の経営支援！

(1) ロジカランド株式会社

2012年7月に設立されたロジカランド株式会社は、様々なITツールを使って企業の課題に応えるビジネスパートナーとして、顧客の「心の支えとなる存在」＝「スーパーヒーロー」を目指す、「価値創造し続けるエンジニア集団」である。

近時は農業DXも言われるようになったが、同社もきゅうりの実の大きさを計測する画像処理プログラムを開発、納品するなど、積極的に取り組んでいる。

また、同社に架かる数多い営業電話を効率よく捌くため、自動応答電話サービスを開発した。これは自由に付加、削除できる、ホワイトリストや解放電話以外の電話を自動録音して通話内容をチャットにテキストで上げるもの。営業電話などではワン切りが多いが、電話番号を記憶してネット検索し、ヒットすれば発信元が分かるようになっており、必要と思われる電話には折り返すことができる。特に営業電話では発信元は複数の電話番号を持つため、ブラックリスト方式では同じ発信元でもすり抜ける架電があるが、この方式ではそれが防げる。同社に架かる営業電話はかなり減ったといい、他社でも導入は容易だという。



ロジカランド株式会社
代表取締役 青木伸介
設立 2012年7月
従業員 32人（2025.7月現在）
所在地 長野県飯田市上郷別府2689-1
業務内容
Webシステム開発 / スマホアプリ開発 / Webサービス /
クリエイティブ企画制作 / クラウド導入 / インフラ構築

(2) スモール・ユニークデータを用いる DAP で、中小企業の経営支援！

例えば同社のコア業務で言えば、各自の端末にアクセス、ログオフした時間で勤怠管理ができるし、各自の制作したプログラムコード数で業務の進捗管理ができる。

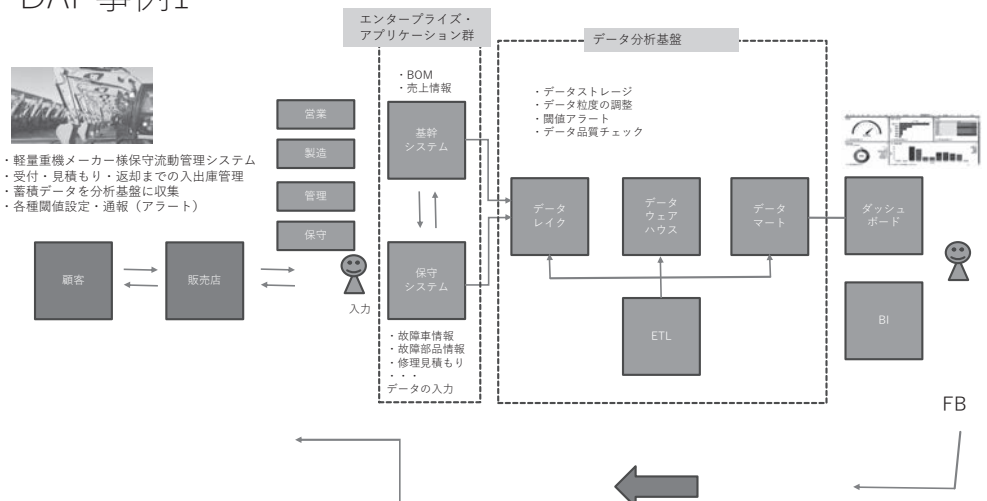
これは同社の一例だが、業務に用いる多くの端末、アプリに残る様々なデータを抽出し、これらのデータソースに横串を通して分析すれば、経営に役立てることができる。

同社は、複数のデータソースからデータを抽出し、加工・変換してから、データウェアハウス（DWH）などの格納先に書き出す、愛称「Data Analytics Platforms」の提供も行っている。

同社会長 青木裕樹氏は、「中小企業には、小さいながらも、その企業しかないデータが多くあります。これを私は『スモール・ユニークデータ』と名付け、当社のプラットフォームで抽出、加工、変換すれば、経営者が欲しいと思うデータを得ることができます。ITは砲兵隊のようなもの。指揮官である社長の意思決定をデータで助け、前線で戦う現場の社員を支援することで、地域の中小企業の経営のお役に立てればと思っています」と語ってくれた。

（資料はすべて同社提供、ホームページ）

DAP事例1



主要経済統計

項目 年月	住宅着工戸数		高 速 バ ス 乗 車 人 数							
	飯 伊 地 区		飯 田 ～ 新 宿		飯 田 ～ 名 古 屋		飯 田 ～ 長 野		伊 那 ・ 駒 ケ 根 ～ 新 宿	
	実 数	前 年 比	実 数	前 年 比	実 数	前 年 比	実 数	前 年 比	実 数	前 年 比
	戸	%	人	%	人	%	人	%	人	%
令和 2	771	8.6	102,394	△ 68.6	85,747	△ 62.2	49,063	△ 54.8	71,390	△ 72.9
3	686	△ 11.0	90,496	△ 11.6	77,895	△ 9.2	39,668	△ 19.1	53,800	△ 24.6
4	638	△ 7.0	163,493	80.7	118,343	51.9	40,389	1.8	117,160	117.8
5	712	11.6	253,155	54.8	162,326	37.2	47,075	16.6	195,366	66.8
6	754	5.9	266,529	5.3	167,471	3.2	46,210	△ 1.8	219,907	12.6
7	—	—	278,551	4.5	174,519	4.2	52,307	13.2	225,372	2.5
令和 6.10	74	10.4	22,134	5.1	14,466	1.7	4,260	△ 0.1	18,687	4.9
11	67	13.6	22,497	8.2	14,245	0.0	3,955	△ 0.8	18,348	11.6
12	78	36.8	24,707	8.1	14,276	2.5	3,344	△ 8.3	18,697	7.2
令和 7.1	26	△ 40.9	23,617	10.3	13,817	2.8	3,324	△ 4.5	17,869	7.0
2	62	△ 6.1	20,529	10.6	13,147	△ 0.4	3,210	△ 5.2	16,479	6.9
3	29	△ 54.7	24,873	1.9	16,266	3.0	3,759	△ 5.0	20,180	△ 2.5
4	55	△ 23.6	20,146	1.4	13,374	3.2	4,451	9.0	17,159	0.2
5	22	△ 52.2	23,483	7.1	14,516	5.6	5,189	21.9	18,680	3.1
6	19	△ 48.6	19,826	4.9	12,757	3.5	4,874	18.2	16,862	3.9
7	69	11.3	22,493	6.3	13,911	6.8	4,622	23.3	19,096	6.2
8	50	△ 7.4	31,526	8.6	18,025	11.2	5,001	28.5	24,870	10.1
9	49	△ 45.6	22,100	0.8	14,029	1.8	4,413	18.5	18,716	△ 3.2
10	46	△ 37.8	22,234	0.5	15,288	5.7	4,820	13.1	18,418	△ 1.4
11	38	△ 43.3	22,826	1.5	15,015	5.4	4,621	16.8	18,332	△ 0.1
12	—	—	24,898	0.8	14,374	0.7	4,023	20.3	18,711	0.1
資料出所	長野県建設部住宅課		信 南 交 通 株 式 会 社							

項目 年月	自 動 車 新 規 登 録 台 数 (松本登録事務所管内)				軽 自 動 車 新 規 登 録 台 数 (全国軽自動車協会連合会)			
	新 車		中 古 車		新 車		中 古 車	
	実 数	前 年 比	実 数	前 年 比	実 数	前 年 比	実 数	前 年 比
	台	%	台	%	台	%	台	%
令和 2	26,002	△ 11.3	8,674	1.5	47,551	△ 7.7	12,591	4.3
3	24,672	△ 5.1	8,716	0.5	44,333	△ 6.8	12,880	2.3
4	22,564	△ 8.5	8,133	△ 6.7	44,005	△ 0.7	12,455	△ 3.3
5	26,537	17.6	8,240	1.3	47,269	7.4	12,670	1.7
6	24,403	△ 8.0	8,864	7.6	41,044	△ 13.2	12,784	0.9
7	24,171	△ 1.0	8,937	0.8	43,998	7.2	13,094	2.4
令和 6.10	2,203	△ 0.3	881	19.7	3,867	△ 5.2	1,006	1.8
11	2,105	△ 9.0	690	△ 3.2	3,630	△ 13.6	941	2.6
12	1,888	△ 2.5	693	△ 3.5	3,197	△ 7.9	935	4.5
令和 7.1	1,970	12.2	553	△ 2.0	3,379	20.0	874	7.2
2	2,072	17.3	654	△ 2.7	3,614	18.5	889	△ 0.8
3	3,002	7.3	852	△ 11.4	4,536	8.0	1,092	△ 1.1
4	1,945	4.0	861	12.4	3,308	19.7	1,787	0.9
5	1,764	5.1	744	△ 4.9	3,340	12.9	1,284	△ 2.4
6	1,972	△ 3.1	776	3.2	4,012	13.2	1,195	5.4
7	1,790	△ 18.4	701	△ 9.8	3,710	3.5	1,158	2.5
8	1,629	△ 7.4	712	9.9	3,080	1.0	850	1.4
9	2,267	△ 3.5	796	17.6	4,211	△ 4.0	1,053	17.3
10	2,030	△ 7.9	806	△ 8.5	3,753	△ 2.9	1,067	6.1
11	1,924	△ 8.6	676	△ 2.0	3,709	2.2	891	△ 5.3
12	1,806	△ 4.3	806	16.3	3,346	4.7	954	2.0
資料出所	長野運輸支局松本自動車検査登録事務所				一般社団法人全国軽自動車協会連合会長野事務所			

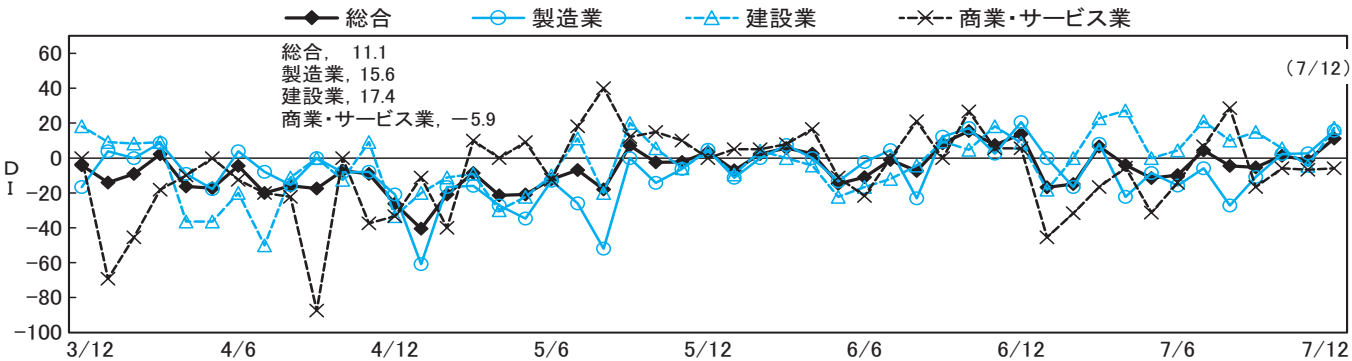
項目 年月	有効求人倍率			倒産件数 (負債額1千万円以上)		信用保証承諾 (飯田支所管内)	
	長野県	飯田管内		長野県内	飯伊地区	新規保証	前年比
	季節調整値 (但、年平均は実数)	パート含む実数	パート除く実数				
	倍	倍	倍	件	件	件	%
令和2	1.16	—	—	80	8	3,707	101.2
3	1.33	—	—	66	9	1,799	△ 51.5
4	1.54	—	—	70	9	1,446	△ 19.6
5	1.45	—	—	73	8	1,669	15.4
6	1.33	—	—	101	8	1,650	△ 1.1
7	—	—	—	95	7	1,644	△ 0.4
令和6.10	1.31	1.40	1.32	10	1	147	△ 1.3
11	1.30	1.56	1.44	13	2	113	△ 24.7
12	1.30	1.47	1.36	9	0	147	3.5
令和7.1	1.28	1.40	1.33	11	0	121	△ 8.3
2	1.29	1.44	1.37	2	0	129	△ 4.4
3	1.30	1.38	1.31	7	1	190	△ 5.0
4	1.29	1.33	1.24	8	0	126	23.5
5	1.27	1.28	1.57	9	0	123	△ 3.1
6	1.26	1.31	1.65	6	1	144	△ 18.2
7	1.28	1.36	1.68	6	0	128	12.3
8	1.24	1.30	1.54	8	1	128	20.8
9	1.26	1.29	1.52	8	1	164	8.6
10	1.25	1.34	1.61	9	1	115	△ 21.8
11	1.26	1.37	1.66	11	2	119	5.3
12	—	—	—	10	0	157	6.8
資料出所	長野県労働局・ハローワーク飯田			南信州地域振興局商工観光課		長野県信用保証協会飯田支店	

※数値は発表者によって予告なく改定されることがあります。

項目 年月	中央道利用台数（インターチェンジ出入合計）									
	飯田 I C		松川 I C		園原 I C		山本 I C		座光寺 S I C	
	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比
	台	%	台	%	台	%	台	%	台	%
令和2	2,191,489	△ 20.1	1,539,468	△ 16.2	330,231	△ 18.6	849,805	△ 16.3	—	—
3	2,069,577	△ 5.6	1,334,516	△ 13.3	328,892	△ 0.4	896,142	5.5	—	—
4	2,192,851	6.0	1,331,034	△ 0.3	380,886	15.8	1,045,343	16.6	799,207	—
5	2,330,747	6.3	1,397,630	5.0	365,362	△ 4.1	1,143,659	9.4	904,767	13.2
6	2,313,466	△ 0.7	1,341,767	△ 4.0	300,978	△ 17.6	1,210,415	5.8	1,006,973	11.3
7	2,357,540	1.9	1,345,874	0.3	341,852	13.6	1,184,852	△ 2.1	1,082,442	7.5
令和6.10	196,690	△ 6.0	133,688	△ 2.0	35,419	△ 8.7	120,753	7.2	101,195	24.9
11	211,043	1.8	137,902	1.0	36,391	24.1	117,329	△ 3.0	88,072	9.5
12	192,986	0.7	111,190	△ 1.9	20,698	0.0	88,294	5.3	84,187	10.6
令和7.1	175,923	0.8	93,216	△ 2.1	22,996	7.7	79,295	7.5	79,766	13.1
2	163,209	△ 0.7	88,751	△ 0.7	23,188	29.5	75,410	1.7	73,029	10.0
3	194,875	0.6	103,309	△ 3.0	22,612	105.7	90,528	△ 7.6	87,104	8.3
4	188,846	0.8	102,995	△ 0.6	50,169	96.1	109,375	6.7	85,834	6.4
5	200,508	1.9	105,477	△ 2.6	32,926	30.2	106,067	2.9	90,345	7.1
6	190,702	2.1	106,998	1.6	20,519	△ 5.5	96,785	△ 9.3	92,297	10.5
7	209,497	4.4	122,097	9.4	27,339	10.2	107,971	△ 0.3	99,147	11.2
8	216,441	4.2	121,073	2.5	36,631	12.6	118,982	5.4	97,502	10.3
9	203,184	1.2	127,238	5.1	25,885	△ 8.5	101,186	△ 3.3	92,470	2.7
10	213,155	8.4	130,356	△ 2.5	26,294	△ 25.8	104,759	△ 13.2	98,181	△ 3.0
11	207,873	△ 1.5	133,488	△ 3.2	32,464	△ 10.8	109,786	△ 6.4	96,822	9.9
12	193,327	0.2	110,876	△ 0.3	20,829	0.6	84,708	△ 4.1	89,945	6.8
資料出所	中日本高速道路（株）名古屋支社飯田保全サービスセンター									

飯伊地区全産業景況 D I の推移

飯伊地区景況 D I（本誌調査）



飯伊地区主要経済指標

主 要 指 標		実 数	前 月 比	前年同月比	前々年同月比	令和元年同月比
倒 産 件 数 (負債総額1千万円以上)	県 内	10 件	(前月 11 件)	(前年同月 9 件)	(前々年同月 5 件)	(令和元年同月 10 件)
	飯 伊	0 件	(前月 2 件)	(前年同月 0 件)	(前々年同月 1 件)	(令和元年同月 0 件)
住 宅 着 工 戸 数 (飯田市、下伊那郡 総数) (11月)		38 戸	△ 17.4 %	△ 43.3 %	△ 35.6 %	△ 61.2 %
有効求人倍率 (パートを含む実数) (ハローワーク飯田管内) (11月)		1.37 倍	(前月 1.34 倍)	(前年同月 1.56 倍)	(前々年同月 1.52 倍)	(令和元年同月 1.41 倍)
自動車新規登録台数 (松本事務所管内)	新 車	1,806 台	△ 6.1 %	△ 4.3 %	△ 6.7 %	△ 10.1 %
	中古車	806 台	19.2 %	16.3 %	12.3 %	22.1 %
軽自動車新規登録台数 (全国軽自動車協会連合会)	新 車	3,346 台	△ 9.8 %	4.7 %	△ 3.6 %	△ 0.4 %
	中古車	954 台	7.1 %	2.0 %	6.6 %	8.9 %
中央道利用台数 (飯田インター分)	入	95,801 台	△ 7.5 %	0.6 %	1.4 %	△ 12.6 %
	出	97,526 台	△ 6.5 %	△ 0.3 %	0.3 %	△ 13.7 %
中央道利用台数 (松川インター分)	入	55,645 台	△ 16.6 %	△ 0.7 %	△ 2.3 %	△ 27.1 %
	出	55,231 台	△ 17.2 %	0.1 %	△ 2.0 %	△ 26.9 %
中央道利用台数 (園原インター分)	入	10,282 台	△ 42.2 %	△ 2.5 %	△ 2.6 %	△ 25.3 %
	出	10,547 台	△ 28.1 %	3.9 %	3.9 %	△ 23.2 %
中央道利用台数 (飯田山本インター分)	入	42,513 台	△ 24.8 %	△ 3.4 %	2.4 %	8.7 %
	出	42,195 台	△ 20.8 %	△ 4.7 %	△ 0.2 %	7.3 %
中央道利用台数 (座光寺スマートインター分)	入	44,062 台	△ 7.0 %	6.0 %	14.2 %	— %
	出	45,883 台	△ 7.2 %	7.7 %	22.2 %	— %
信用保証協会 新規保証件数 (飯田支店管内)		157 件	31.9 %	6.8 %	10.6 %	△ 24.2 %
信用保証協会 代位弁済件数 (飯田支店管内)		5 件	(前月 14 件)	(前年同月 1 件)	(前々年同月 2 件)	(令和元年同月 2 件)
高速バス乗車人数	飯田～新宿	24,898 人	9.1 %	0.8 %	9.0 %	△ 13.0 %
	飯田～名古屋	14,374 人	△ 4.3 %	0.7 %	3.2 %	△ 22.5 %
	飯田～長野	4,023 人	△ 12.9 %	20.3 %	10.4 %	△ 49.1 %
	伊那・駒ヶ根～新宿	18,711 人	2.1 %	0.1 %	7.3 %	△ 17.2 %
市内循環バス乗車人数	左回り	3,314 人	19.2 %	△ 0.8 %	7.7 %	△ 11.6 %
	右回り	3,153 人	4.2 %	4.8 %	6.2 %	△ 18.7 %

★産業経済動向 No.560 (2025 / 11 令和 7 年12.25発行号)「軽自動車新規登録台数(新車)」の数値に誤りがありました。正しくは以下の通りです。お詫びして訂正いたします。

主 要 指 標		実 数	前 月 比	前年同月比	前々年同月比	令和元年同月比
軽自動車新規登録台数 (全国軽自動車協会連合会) (10月)	新 車	3,753 台	△ 10.9 %	△ 2.9 %	△ 8.0 %	15.2 %
	中古車	1,067 台	1.3 %	6.1 %	8.0 %	19.9 %